

Snow Article IV 添付文書

紫乃 雪夜

Nov 25, 2008

1 イン트로ダクション

本ソフトウェア、Snow Article IV、は医学論文の情報を登録・管理するためのソフトです。商用のソフトには同様の目的のより高機能なソフトがありますが、高価であることや、あまりに機能の多い場合がありますので、作者自身が必要とする機能のみを備えたシンプルなソフトを作成してみました。また、医学領域には Windows の他、Macintosh を使われている方も多く、作者自身も何れの OS も使用している事から、何れの OS でも使用できる物としました。ソフトの作成には Adobe Flex Builder 3 を利用しています。また、アイコンには yasu-log 氏による「AIR Icon Generator」を使用させて頂きました。

2 注意

動作環境 本ソフトは Adobe AIR ランタイム上で動作します。Adobe によると Windows では 2000 SP4、XP SP2、Vista で、Mac OS では Mac OS X 10.4 以降で動作するとの事です。作者は Windows XP SP2、Vista SP1、Mac OS X 10.5 で動作を確認しています。以降の説明は Windows Vista の場合を示しています。

著作権などについて 本ソフトは無償でご利用頂けます。再頒布に関しては作者の情報、および可能であれば作者の HP のアドレスを記載して頂ければ結構です。著作権は放棄致しませんのでソフトの改変等はなさない様お願いします。また、本ソフト作成にあたっては重大なエラーが出ない様に注意をしていますが、本ソフトの使用は使用者の責任の下にお願いします。本ソフトの使用に起因する如何なる障害、損害に関しても作者は責任を負いかねます。

3 インストール

本ソフトのインストールには、SnowArticle4.air ファイルをダブルクリックし、出てくるダイアログに従って頂ければ結構です。アップデートの場合も同様にインストーラをダブルクリックし、バージョンが新しい事を確認してインストールして下さい。なお、本ソフトのインストール、起動には Adobe AIR ランタイムが必要です。インストーラをダブルクリックした際にインストールダイアログが出ない場合、下記のサイトから使用するパソコンにあったランタイムをダウンロードし、インストールして下さい。

<http://get.adobe.com/jp/air/>

4 機能

現在のバージョン（4.07）では以下の機能を実装しています。

- PubMed から論文情報をインポート
- 論文情報の閲覧
- 論文情報の検索
- 論文の PDF ファイルとのリンク
- 論文を文献リストとして管理
- 指定形式にて論文情報をエクスポート

v4.05 からの変更点

文献リストに関する処理におけるエラーの修正

メインリストからのドラッグ&ドロップによるエクスポート方法の変更

5 操作法

データファイルの置き場所 本ソフトは起動時に必要なデータベースファイルなどを自動で作成し、また必要に応じてデータファイルを作成します。これ等のデータファイルはユーザーのホームフォルダにあるドキュメントフォルダに「SnowArticle」という名のフォルダが作成され、その中に全てのファイルが保存されます。取り込んだ PDF ファイルは「PubMed」フォルダに、削除した PDF ファイルは「Deleted」フォルダに、文献リストは「ArticleList」フォルダに保存されます。

ソフトのデータを初期化したい場合は、これ等のファイルを「SnowArticle」フォルダごと削除すれば初期状態に戻ります。インポートしたデータをバックアップしたい、もしくは他の PC に移したいときには、「SnowArticle」フォルダの中の「article.db」をコピーすればデータが移行できます。環境全体をバックアップしたい場合は、「SnowArticle」フォルダをそのままコピーして下さい。

論文のインポート 論文情報は PubMed から、各論文に一意に割り当てられている ID 番号である PubMed ID(PMID) を手がかりに自動でインポートされます。手動で入力する必要はありません。

インポートには二つの方法があります。論文を PDF ファイルとして所有している場合、その PDF ファイルの名前が PMID であればそのファイルをソフトのメインリストの部分にドラッグ&ドロップすることでインポートできます。この際、PDF ファイルも同時にデータフォルダに作成される PubMed フォルダの中にコピーされ、保存されます。従って、インポートに用いたファイルは移動しても問題ありません。また、複数の PDF ファイルを同時にドラッグ&ドロップすれば、複数の論文を同時にインポートできます。あまりに多くのファイルを同時にインポートすると、PubMed から情報をダウンロードする為に時間がかかります。処理が終わるまではソフトを終了したり、論文情報を削除したりしない様にして下さい。論文情報の閲覧操作は問題ありません。参考として、作者のテストでは 500 ファイルを同時にインポートしてもエラーは起きませんでした。

PDF ファイルを所有していない場合、テキストファイルに PMID を書き込み、これをソフトのメインリスト上にドラッグ&ドロップすれば情報をインポートする事ができます。複数の論文をインポートしたい場合、カンマで区切って PMID をかきこんでください。この際、カンマと数字以外の文字を用いないで下さい。また、改行も入れないで下さい。書式の例：123456、789012、3456789 この方法でインポートした場合、論文の PDF ファイルがデータ保存フォルダの中に無い場合、ソフトで情報を閲覧中に PDF ファイルを開く機能が使用できません。インポート後に PDF ファイルを入手した場合、PMID を名前につけてデータフォルダにある PubMed フォルダ中に入れば、以降は PDF ファイルを開く機能を使用する事ができます。この際、拡張子には小文字を用いて下さい。

論文の検索 ウィンドウの上にあるメニューバーの検索窓に検索したい語を入れて検索ボタンを押すと、入力した語に一致する項目を含む論文がメインリストに表示されます。検索語の大文字小文字は問いません。マッチを評価するフィールドを指定しない場合、評価は著者、タイトル、雑誌名、アブストラクトに対して行われます。それ以外のフィールドに対して評価を行いたい場合、またはあるフィールドのみからマッチを評価したい場合は、評価するフィールドを指定して検索を行います。フィールドを指定するには、検索を行いたい語に続いて「@」を入力し、その後にフィールド名を指定します。フィールド名として使用できる語（フィールド指定タグ）を以下に示します。これらのフィールド指定タグは必ずしも完全に入力する必要はありません。略式雑誌名のように一文字目のみでタグが確定しうる場合は最低一文字入力すれば検索出来ます。一方、一文字目が i の場合は issue、id、import の可能性があるため、一文字ではフィールド指定は出来ません。この場合、タグが一意に決定出来る最低限の文字数以上を入れて下さい。一文字目が i の場合は最低三文字入力すればフィールドが指定されます。

フィールド	指定タグ	最小入力
PubMed ID	pmid(または id)	pm(または id)
著者	author	au
タイトル	title	t
雑誌名 (略称)	journal	j
雑誌名 (正式)	full	f
Volume	volume	v
Issue	issue	is
ページ	page	pa
出版年月	publish	pu
電子出版年月日	epublish	e
アブストラクト	abstract	ab
インポート年月日	import	im

また、複数の検索語（フィールドの指定は問いません）をスペースで区切って入力すると、全ての検索語にマッチする項目が表示されます。

論文の絞り込み表示 ウィンドウ上部の検索ボタンの右にある二つのプルダウンメニューは論文の絞り込み表示に用います。左側のプルダウンメニューで絞り込みに用いるフィールドを指定します。使用できるフィールドは著者、タイトル、略式雑誌名、正式雑誌名です。左側のメニューでフィールドを指定したら、右側のメニューから絞り込む条件を選択します。基本的には選択した項目を前方一致で検索します。即ち、著者のフィールドで「a」を選択した場合、第一著者名の頭文字が「A」である論文が表示されます。また、左側のメニューにはユーザーが絞り込み条件を入力することも出来ます。この場合、入力した語を先頭に持つ論文が表示される事になります。全ての論文を表示する場合、検索窓に何も入力せずに検索ボタンを押すか、絞り込み条件で空欄を選んで下さい。

論文情報の閲覧 メインリストで表示されている論文をクリックすれば、メインリストの右側にあるメインタブに詳細情報が表示されます。メインリストで右クリックメニューから「Delete」を選択すると論文情報を削除出来ます。この時、削除された論文の PDF ファイルはデータフォルダの中に作成される Deleted フォルダに格納されます。

文献リストの管理 メインリストの右の文献リストタブでは論文をリストにして管理できます。タブには文献リスト一覧リストと詳細情報リストがあります。文献リスト一覧では新規文献リストを作成したり、削除したり出来ます。文献リストを作成するには、一覧リストで右クリックし、新規リストを選択します。作成されたリストの名前はリストを選択して書き換えれば変更できます。文献リストを選択するとリストに文献を追加出来るようになります。メインリストから詳細リストに追加したい論文をドラッグ&ドロップして下さい。論文リスト及びリストからの論文の削除は右クリックメニューの削除から行う事が出来ます。

論文情報のエクスポート 論文情報を適当な書式でエクスポートする事が出来ます。書式の指定に関しては後述します。メインリストで選択されている論文をエクスポートする方法と、文献リストに登録されている論文をエクスポートする方法があります。

メインリストからエクスポートする場合、エクスポートしたい論文を選択した状態で右クリックメニューから「デスクトップに書き出し」を選択すると、「reference export.txt」というファイルがデスクトップに作成されます。同名のファイルがすでに存在する場合は上書きされます。もしくは、メインリストのフィールド名の表示されている場所からエクスポートしたいフォルダ等にドラッグ&ドロップしても同様に書き出しが出来ます。また、Alt キーを押すと一時的にメインリストから文献リストへの登録の為のドラッグ&ドロップ動作がキャンセルされ、メインリストからデスクトップなどへ直接ドラッグ&ドロップが行えるようになります。この状態でもう一度 Alt キーを押すと元の状態に戻ります。

文献リストに登録されている論文をエクスポートするには、エクスポートしたい文献リストを一覧リストで選択した状態で詳細リストで右クリックメニューから「デスクトップに書き出し」を選択するか、一覧リストをドラッグ&ドロップして下さい。何れの方法でエクスポートする場合でも、コントロールキーを押しながらエクスポートを行うと論文の情報に番号が振られた状態でエクスポートされます。コントロールキーが押されていない場合は論文情報はそのままエクスポートされます。

書式の設定 エクスポート時の書式の設定には、メインウィンドウの「Format」タブで書式を作成します。初回起動時には Vancouver 形式が入力、設定されています。書式の設定には半角の<と>で囲まれたフィールドタグを用い、エクスポート時にはこのフィールドタグが各情報と置換されてエクスポートされます。

上半部の書式表示エリアで、「Author Format」では著者の書式を指定します。使用できるタグ

は<ForeName>、<LastName>、<Initials>、<Number>です。<Number>は著者数が指定数を超えた時に以降を省略し、「et al」としたい場合に用い、著者を3人まで書き出したい場合は<Number3>と指定します。指定できる人数は1~9人までです。「Export Format」では全体の書式を指定します。ここで使用出来るタグは<Author>、<Title>、<Journal>、<Full>、<Volume>、<Issue>、<Pages>、<Publish>、<ePublish>、<Import>、<Abstract>です。このうち、<Journal>では略式雑誌名が、<Full>では正式雑誌名が指定されます。これらのタグ以外の文字はすべてそのままエクスポートに反映されます。「For no Data」ではPubMedから情報が得られなかったフィールドがある場合にその部分に挿入される語句を指定します。何も書き込まなかった場合、その部分には<No Data>と書き込まれます。これは情報が無く、そのフィールドが飛ばされてしまっている事に気づかない可能性を減らす為です。

書式を作成したら、「New Save」ボタンを押して書式を保存します。保存した書式の一覧は下半部のリストに示されます。<*>マークは上記3つの書式を区切る記号です。リストから編集、表示したい書式を選択すると上半部に書式が表示されます。この状態で書式を変更し、「Save」ボタンを押すと変更が保存されます。また、「Delete」ボタンを押すと選択していた書式が消去されます。

エクスポートに用いる書式の指定では、表示されている書式がエクスポートに用いられます。書式一覧のリストから使用したい書式を選択し、上半部に表示された状態にして下さい。

6 最後に

門外漢が作成したつたないソフトですが、作者がレポートや論文を書く際に便利だな、と思う機能を搭載して作ったつもりです。このソフトが医学論文を読む方に少しの便利を届られれば幸いに思います。

このソフトを使用されての感想、批評、要望など、どのような事でもよろしいですので、作者にメールを頂けると非常に嬉しく思います。ご連絡の際は下記のメールアドレス、または作者のホームページよりお願いします。

メールで感想などを送って頂いた方には、本ソフトのちょっとした隠し機能をお教えすることにしていきます。本当にちょっとしたものですが、よろしくお願いします。

では、皆様のご活躍をお祈り致します。

メールアドレス：shino.yukiyo@gmail.com

ホームページ： <http://chiyonotukikage.yukimizake.net/>